



「ありがとう！25周年」 骨髄バンク設立 25 周年記念 全国大会を開催します。詳細は HP をご覧ください。

日本骨髄バンクの現状（平成 28 年 6 月末現在）

	5 月	6 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,575	3,100	462,068	672,068
患者登録者数	239	282	3,338	48,345
移植例数	86	146	—	19,629

■6 月年代別ドナー登録者数（現在数）

10 代	3,432 人
20 代	70,139 人
30 代	140,973 人
40 代	194,745 人
50 代	52,779 人

■6 月の 20 歳未満の登録者 486 人

■6 月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／969 人、献血併行型集団登録会／2,018 人、集団登録会／55 人
その他／58 人

■6 月末までの末梢血幹細胞移植 (PBSCT) 累計数:189 件

注) 数値は速報値のため訂正されることがあります。

■骨髄バンクを介して 2 回提供された方（累計数）1,324 人 ■DLI（ドナーリンパ球輸注）療法の実施件数（累計数）726 件

■国際協力（2016 年 4 月～2016 年 6 月）

<海外ドナー⇒国内患者> 移植数 0 件：累計移植数：184 件

<国内ドナー⇒海外患者> 提供数 1 件：英アンソニーノーラン 1 件：累計提供数：259 件

1 理事、監事、評議員の改選

第 5 回通常評議員会（6 月 28 日）が開催され、任期満了に伴う理事、監事、評議員の改選がありました。理事は全員再任され、新任 2 名を含め計 12 名となりました。監事 2 名は退任し、新任 2 名となりました。評議員も全員再任され、新任 2 名を含め計 11 名となりました。同日開催の臨時理事会では理事長に齋藤英彦氏、副理事長に伊藤雅治氏と小寺良尚氏がそれぞれ再任されるとともに、各委員会委員が選任されました。

■ 理事

【再任】伊藤雅治、岡本真一郎、加藤俊一、小寺良尚、齋藤英彦、佐々木利和、鈴木利治、高梨美乃子
谷口修一、橋本明子

【新任】浅野史郎、金森平和

■ 監事

【新任】五十嵐邦彦、佐藤太亮

■ 評議員

【再任】芦田信、大谷貴子、小達一雄、垣添忠生、河敬世、串田正克、坂巻壽、中溝裕子、溝口秀昭

【新任】梅田正造、高坂久美子

（すべて五十音順、敬称略）

また、本評議員会では平成 27 年度事業報告（案）、決算報告（案）が可決承認されました。平成 27 年度決算は、寄付金収入が増えて職員の賞与カットや研修会の実施見送りなど緊急的な経費削減策を実施した結果、収支は大幅に改善したものの、経常収益から経常費用を差し引いた経常増減額は未だ 1700 万円の赤字となりました。移植件数が減少傾向で厳しい財政状況が続いていることから、引き続き経費節減に努めてまいります。

役員名簿、平成 27 年度事業報告、決算報告は、当法人ホームページの<日本骨髄バンクについて>法人情報をご覧ください。

2 非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科の認定について

以下の施設が新たに非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科として認定されました。これまでに認定された施設は 94 施設です。

◆非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科

・採取施設

茨城県立こども病院

・移植診療科

同左 小児専門診療部 小児血液腫瘍科

新規認定施設については、当法人ホームページ>患者さんへ>移植認定病院およびドナー登録されている方へ>面談施設一覧でもご覧いただけます。

3 ACジャパンの新広告キャンペーン

7 月 1 日より AC ジャパンの骨髄バンク支援新キャンペーンが始まりました。54 歳までの年齢制限などの理由でドナー登録取消者が年間 2 万人を超える現状を訴え、若年層にドナー登録を呼びかけています。人の命を救う骨髄バンクのドナーを「匿名のヒーロー」とし、55 歳を迎えて登録取消となるドナーの引退と、若いドナーの必要性を訴えています。仮面とマントを身に着けた匿名ヒーローが多数登場する CM やポスターは、若い人たちを意識した表現となっています。

新しい CM は AC ジャパンのホームページでご覧いただけます。

https://www.ad-c.or.jp/campaign/support/support_03.html

4 「日本骨髄バンク NEWS」第 48 号発行

日本骨髄バンク NEWS 第 48 号を 7 月 6 日に発行しました。これまで、登録中の全てのドナーの方に年 2 回送付していましたが、今号から年 1 回（12 月）の発送となります。

巻頭インタビューは『仮面ライダーゴースト』主演の西銘駿さんです。骨髄移植を受けた、仮面ライダーが大好きな 3 歳の男の子にメッセージを届けた西銘さん。心優しいヒーローにその時のお気持ちを伺いました。

特集 1 は「骨髄・末梢血幹細胞の提供が決まったら？」と題し、提供日が近づいてきたら注意してほしいことを説明しています。特集 2 は宮城・山形県を中心に活動しているボーカルグループ EnGene.（エンジン）に話を伺いました。リーダーのシンさんは骨髄移植を受けて元気になりました。

詳しくはホームページをご覧ください。

http://www.jmdp.or.jp/about_us/publishing/jmdp_news.html

※今号からホームページ掲載版はカラーとなります。

5 「2016 子ども霞が関見学デー」のお知らせ

夏休みの子どもの向けイベント「子ども霞が関見学デー」が 7 月 27 日と 28 日に、各府省庁で開催されます。厚生労働省の「骨髄バンクとさい帯血バンク」合同ブースでは「生きるチャンスを広げる～お医者さんになって造血幹細胞移植のお手伝いをしよう！～」と題した企画を予定しています。マンガを見てクイズに答えた後、子どもたちがお医者さんになって「骨髄・末梢血幹細胞」や「臍帯血」の採取体験をする内容です。参加者にはこどもドナーカード(サンプル)を持って帰ってもらいます。



6 舞台「友情～秋桜のバラード～」が今年もスタート

白血病で死に直面し、薬の副作用で髪が抜け落ちたクラスメートを励ます為にクラスの全員が頭を丸め、友情を深めるという米国の実話を基に作られた舞台「友情～秋桜のバラード～」が、8月20日(土)の東京浅草・雷 5656 会館を皮切りに全 4 会場で上演されます。上演回数は平成 11 年 11 月 11 日の初演より 17 年で 560 回を数えます。会場ロビーでは骨髄バンクの PR と募金活動を行う予定です。

詳しくはホームページをご覧ください。 (<http://www.yu-jo.net/>)

7 骨髄バンク・さい帯血バンク広報誌「BANK！ BANK！」VOL. 3 発行

骨髄バンク・さい帯血バンクの理解を深めるための広報誌「BANK！ BANK！」VOL. 3 (7 月号) が日本赤十字社から発行されました。

下記ウェブサイトや SNS で公開するほか、献血ルームなどでは冊子として配布されます。

冊子を希望される方は、日本赤十字社 (TEL:03-3437-7205) へお問合せください。

掲載 URL: <http://www.bmdc.jrc.or.jp/info/2016/0715.html>

<https://www.facebook.com/bank.bank.jrc/>

8 当法人の会議等開催予定

◆会議の傍聴をご希望の方は、事前に当法人総務部までお申し込みください。

会議名	公開・非公開	開催予定
ドナー安全委員会	非公開	7月17日(日) 12時半～15時半 廣瀬第2ビル地下会議室
業務執行会議	公開・一部非公開	7月22日(金) 17時半～19時半 廣瀬第2ビル地下会議室

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

9 術前健診時のサイトメガロウイルス抗体検査結果について<移植施設の方へ>

サイトメガロウイルス抗体はドナー適格性基準上の判定項目には該当しないため、検査中であっても術前健診結果を報告しています。移植に必要な情報として検査結果の確認を急がれる場合はドナーコーディネーター部までご連絡ください。

10 厚生労働科学研究事業「骨髄バンクコーディネーター期間の短縮とドナープールの質向上による造血幹細胞移植の最適な機会提供に関する研究」アンケート協力をお願い

マンスリー JMDP 4 月号で標題の研究 (班長 福田隆浩先生 国立がん研究センター中央病院) と当法人の連携についてお知らせしました。本研究に関する実態調査として、骨髄バンク事業に日頃よりご協力いただいている医師・HCTC ならびにバンクコーディネーターのみなさまにアンケートを実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。8 月の発送を予定しています。詳細は次号でお知らせします。

なお、本研究に関する第一次調査結果「厚生労働科学研究等における解析結果『過去 10 年間における骨髓バンクコーディネートの実態把握調査』（平川経晃先生 日本医科大学）は、当法人ホームページに掲載していますのでご覧ください。

HOME>医師の方へ>患者主治医の方へ>解析結果など医療情報>■厚生労働科学研究等における解析結果「過去 10 年間における骨髓バンクコーディネートの実態把握調査」（第 38 回 日本造血細胞移植学会総会で発表）

11 連絡事項

◆ ブラッシュアップ研修会の出欠と事前質問募集<コーディネーターの方へ>

○ 出欠連絡

今年度の第 21 回コーディネーターブラッシュアップ研修会は、1 日目を 9 月 17 日（土）藤原洋記念ホール（横浜）で骨髓バンク設立 25 周年記念全国大会と併催し、2 日目は 18 日（日）連合会館（東京・千代田区）で実施します。

欠席される方は、7 月 28 日（木）までに地区事務局経由でドナーコーディネート部にご連絡ください。プログラム詳細はマンスリー JMDP 8 月号でご案内します。

○ 事前質問募集

ブラッシュアップ研修会 2 日目に下記の医学講義を予定しています。事前質問を募集しますので、8 月 30 日（火）までに、ドナーコーディネート部宛に FAX（03-5280-5580、書式自由）でお寄せください。質問者名は公表しませんが、質問用紙には地区名・氏名を明記してください。

■ 医学講義

講題：「主治医の立場から考える造血幹細胞移植ソースの動向と非血縁移植の期間短縮について」（予定）

講師：福田隆浩先生（国立がん研究センター中央病院 造血幹細胞移植科長）

概要：福田先生は、造血幹細胞移植医療のご経験が豊富で、今年度の厚生労働科学研究班の班長として、骨髓バンクコーディネート期間の短縮等に関する調査研究を行っています。移植医療の昨今の動向を主治医の立場からご教示いただくとともに、コーディネート状況の解析から見えてきた課題、研究班の取り組み状況や目指す方向性について講演いただきます。

◆ 開始シートでの「日本骨髓バンク NEWS」発行のご案内<コーディネーターの方へ>

年 2 回（7 月と 12 月）発行の「日本骨髓バンク NEWS」は、経費削減の観点から本年 7 月号（7 月 6 日発行）よりメールによる「発行のお知らせ」を開始しました。7 月号は寄付者の方を除いてドナーの方へ郵送のお届けがないため、開始シートに「『骨髓バンク NEWS』についてのお知らせ」を掲載しています。別紙の帳票見本をご参照ください。

■ 実施期間：7 月 6 日出力分から 11 月末日出力分まで